

学校のトイレ新聞

日本共産党 青梅市議団

青梅市議会議員 井上たかし

活動報告 2023年2月No.6



井上たかしホームページも、ぜひご覧ください <http://peaceforat.com/it/>

この新聞では、青梅市内の改善された小中学校のトイレの様子などをご紹介します。古いトイレは、子どもたちから「暗くて怖い」「学校では行きたくない」との声も聞かれました。「早くトイレ工事を」の市民の声が広がり、市は2019年にトイレ工事計画の前倒しを決断！現在工事が進められています。

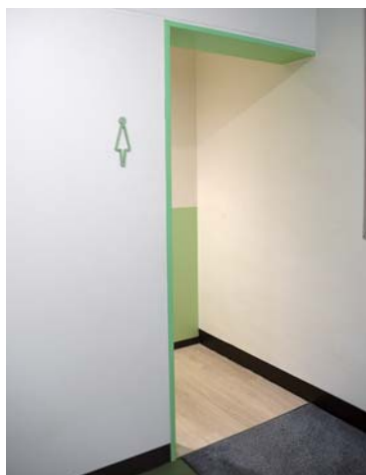
泉中学校

便器だけでなく、配管、床、内装なども取り換えられているため、臭いはなく、空気がさわやかです。バリアフリー対応でスライドドアの個室や足元が広い手洗い場になっているため、車椅子の生徒さんでも使いやすくなっています。



友田小学校

トイレははじめや不登校の原因になりかねません。廊下とトイレの間は、ドアではなく構造によって中が見えないように工夫されているため、トイレが閉鎖空間にならず、生徒も先生も安心感があるそうです。



河辺小 藤橋小 泉中 外壁工事・屋上防水工事が行われました

「学校の外壁が落下した」、「雨漏りが深刻」など、先生方から驚くべき実情が訴えられました。市議会で、「市内の小中学校の7割ですでに不具合が起きている」ことを示し、緊急の調査と補修工事が実施されました(2020年度に8校)。

そして、昨年度には第五小学校、今年度は河辺小学校、藤橋小学校、泉中学校の外壁工事が行われています。一日も早く、安全第一、生徒も先生も困らない施設の改善が必要です。



藤橋小学校



西中学校



中学校の制服見直しが進む



来年度から導入される泉中の制服。右端は女子用スラックスですが、男女とも、すべてのタイプが選択できるとのことです。

「女性はこうあるべき」「男子たるもの」などと社会から規定されることを子どもたちが強く意識する機会となるのが中学校の制服です。文科省の通知※では、性自認に違和感を感じる生徒が自分で申し出た場合の対応が示されていますが、これではハードルが高すぎます。

そもそも、例えばスカートは「動きにくい」、「寒い」、「履いたことがない」と感じることも普通のことであり、「もっと自然にスラックスでもスカートでも選べるようにした方が、学校の対応もスムーズになる」という観点で質問を行いました(2021年3月9日一般質問)。

校則もあわせて議論と見直しを

市教育委員会は、校長会での情報交換などを実施し、制服の見直しのほか、例えば、男女別なくリボンやネクタイも含めて自由に選べるように校則を見直した学校など、改善の取り組みが進みました。

「そもそも制服とは」、「校則は誰がどのように決めるのか」など、今後も子どもたちの立場に立った議論や見直しが必要です。

あと4校!

来年度でトイレ工事が「一周」します

2023年度 工事予定 **第六小** **第七小** **今井小** **第七中**

普通教室前を優先的に進められてきたトイレの改修工事計画は、2023年度で第二小をのぞく市内25校で実施され、「一周」することになります。残りのトイレや、その他多くの補修・改修、建て替えが必要なため、今後も計画的に進めることを求めます。

小中全校 体育館にエアコンが設置されます

市は、東京都の補助期間となる来年度いっぱいまでに、市内の全小中学校の体育館にエアコンを設置する方針です。今年度末までに中学校で、2023年度中に小学校で設置されます。



給食費2・3月分は免除に

今年の2・3月の小中学校の給食費が「免除」されることになりました。各地で学校給食費の無償化が進められていますが、私は、「国・都に無償化を求めながら、まず市が独自に補助を」と訴えてきました。市の今回の判断はよかったと思いますが、これはまだ今年度限りの措置のため、継続的な補助を求めています。

※平成27年文部科学省の「性同一性障害や性的指向・性自認に係る、児童生徒に対するきめ細かな対応等の実施について」

日本共産党青梅市議団

「学校のトイレ新聞」
バックナンバーは
こちら→



青梅市議会議員

井上たかし

ご連絡は 090-8489-5260

inouetakashi99@gmail.com

@inoue_9 Twitterやっています

